

2018年6月15日

新商品（投資信託）の取扱い開始について

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、2018年6月18日（月）より、投資信託商品の新規取扱いを開始いたしますので、お知らせします。

当行は、今後も投資信託や保険商品の品揃えの充実を図り、お客さまに喜ばれる商品、サービスの提供をまいります。

1. 新規取扱商品

(1) 【限定追加型】

商 品 名	日本連続増配成長株ファンド18-07（繰上償還条項付）
運 用 会 社	岡三アセットマネジメント株式会社
分 類	追加型投信／内外／株式
募 集 期 間	当初募集期間は、2018年6月18日（月）～2018年7月30日（月）です。 2018年7月31日（火）の設定後（以降、基準価額が変動します）も、2018年9月28日（金）までご購入いただける投資信託です。
販 売 方 法	店頭募集のみ取扱います（インターネットバンキングでは売買できません）。 分配金再投資コースのみの取扱いとなります。

(2) 【追加型】

商 品 名	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型） 【愛称；グローバルMa a S（1年決算型）】
運 用 会 社	日興アセットマネジメント株式会社
分 類	追加型投信／内外／株式
販 売 方 法	店頭およびインターネットバンキングで取扱います。分配金受取コースと分配金再投資コースを取扱いします。

※投資信託の詳細については別紙、ご留意点につきましては次頁をご参照下さい。

2. 取扱店

全営業店（「さいたま新都心パーソナルプラザ」及び「ユア・ラウンジ・浦和」を含む）

3. お客さまからのお問い合わせ先

営業店または、フリーダイヤルへお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-6342-14

※受付時間 平日 9:00～17:00（土・日・祝日（12/31～1/3）を除きます）

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
営業統括部 預り資産推進室 吉田・吉野
048-641-6111（代） 内線 2351・2327

- 投資信託は、預金ではなく、当行が元本を保証する商品ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではなく、当行で購入する投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託はクーリングオフの適用はありません。
- 投資信託は国内外の株式や債券など値動きのある金融商品を組入れているため、基準価額が下落して、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されるお客さまに帰属します。
- 投資信託のご購入に際しては、必ず最新の投資信託説明書（交付目論見書）、及び契約締結前交付書面により商品内容を十分確認のうえ、ご自身でご判断してください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）は当行の本・支店等でご用意しております。
- 投資信託のお申込みにあたっては、当行所定のお申込手数料（最大3.24%、税込み）がかかるほかに、保有期間中は信託報酬等（最大2.376%、税込み）がかかります。また一部の商品は換金時に信託財産留保額（最大0.5%）が基準価額より差し引かれます。

【商号等】 株式会社武蔵野銀行 登録金融機関 関東財務局長（登金）第38号 【加入協会】 日本証券業協会
--

以 上

ファンド名	日本連続増配成長株ファンド18-07 (繰上償還条項付)
運用会社	岡三アセットマネジメント株式会社
分類	追加型投信/内外/株式
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の連続増配銘柄 (一定期間にわたり1株当たりの普通配当金が每期増加している企業の株式) に投資を行います。 ・投資候補銘柄の選定にあたっては、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を勘案して行います。また、ポートフォリオの構築にあたっては、成長性、バリュエーション等のほか、今後の連続増配の持続可能性を勘案して行います。 ・信託期間中において、以下の条件を満たした場合は繰上償還します。 <p>①2021年7月30日までに分配金込基準価額が12,000円以上となった場合。</p> <p>②2021年7月30日までに分配金込基準価額が12,000円以上とならず、 2021年8月2日以降に10,500円以上となった場合。</p>
ファンド名	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド (1年決算型) 【愛称; グローバルMa a S (1年決算型)】
運用会社	日興アセットマネジメント株式会社
分類	追加型投信/内外/株式
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を含む世界の株式の中から、主にモビリティ・サービス関連企業 (Ma a S 関連企業) の株式などに投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。 ・Ma a S 関連企業には、移動手段として自動車などの「モノ」を提供する企業や、ライドシェアリングのように「サービス」を提供する企業などがあります。 ・個別銘柄の選定には、イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー (アーク社) の調査力を活用します。